

九州・山口県の火山活動 (令和8年3月1日～4月21日)

令和8年4月21日
福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

今回のポイント

・桜島で約4カ月ぶりに爆発が発生

桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲で警戒（大きな噴石、火砕流）

- ・南岳山頂火口で約4カ月ぶりに爆発が発生
- ・始良カルデラの地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられる。

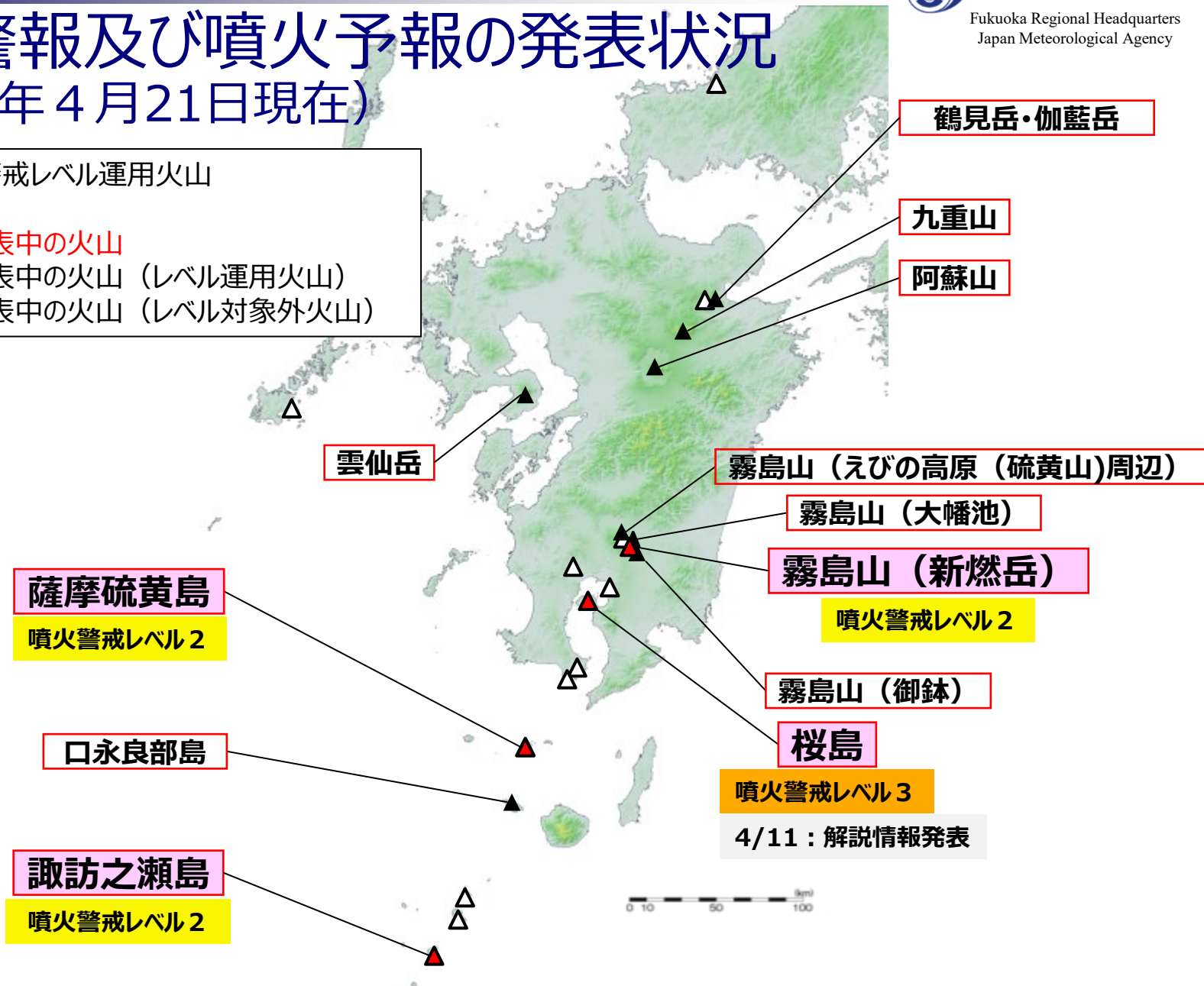
・eラーニング教材の提供を開始

eラーニング教材「**火山災害から命を守る**」及び
「**地震・津波から命を守る**」の提供を開始

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (令和8年4月21日現在)

火山名 は噴火警戒レベル運用火山

- ▲ 噴火警報発表中の火山
- ▲ 噴火予報発表中の火山 (レベル運用火山)
- △ 噴火予報発表中の火山 (レベル対象外火山)



桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）

■ 爆発

- 2026年4月11日から19日にかけて爆発が6回発生した。
爆発が発生したのは、2025年12月13日以来。
- 噴煙が最高で火口縁上3,400m（11日）まで上がり、大きな噴石は最大で7合目（火口から約1,200m：13日）まで達した。
噴煙が3,000m以上へ上がったのは、2025年11月27日（3,000m）以来。

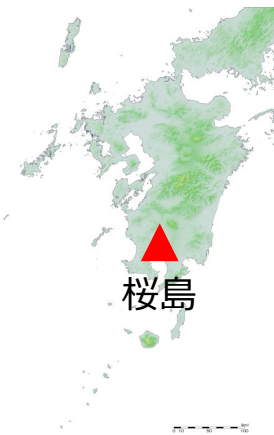


爆発とは

噴火の一形式であり、マグマに溶けていた気体や水が急激に気化・膨張することにより、周囲の岩石を破壊して、溶岩、破片状の固体物質、火山ガス、またはそれらと火山ガスの混合物が、急激に地表に噴出する現象のこと。多くの場合空振を伴う。

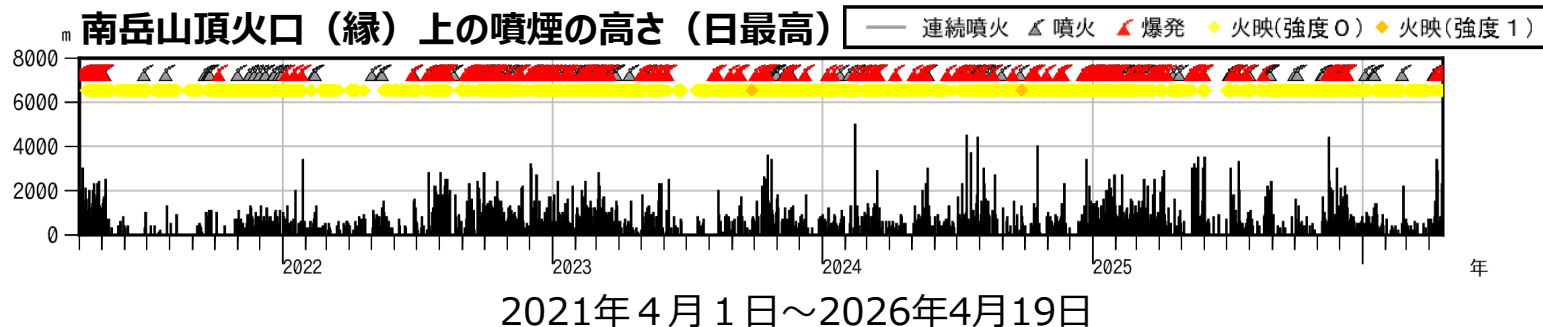
桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）



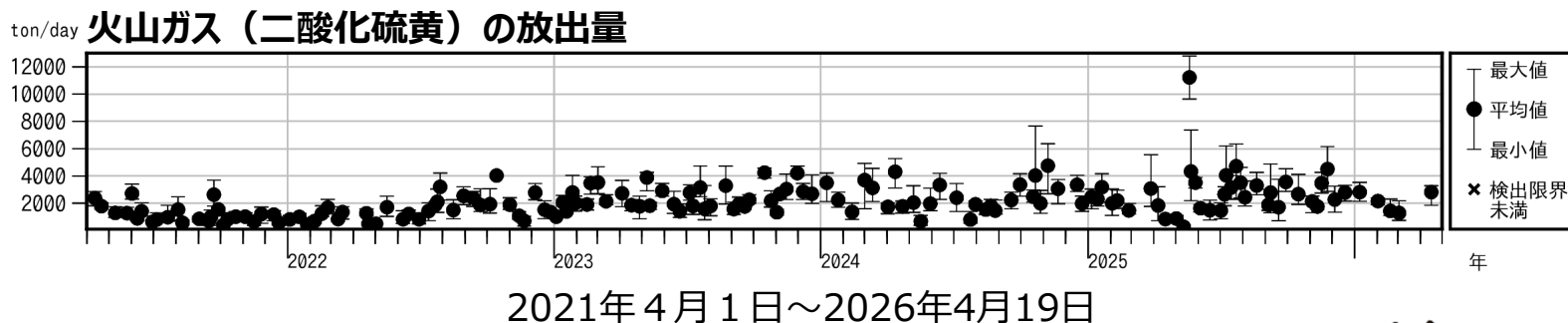
■ 噴火活動

南岳山頂火口では、4月11日から19日にかけて爆発が6回発生。爆発は約4か月ぶり



■ 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量

3月以降の1日あたりの放出量は1,300～2,800トン。2022年7月以降、概ね多い状態



※二酸化硫黄ガス
マグマに溶け込んでおり、揮発すると地中の隙間を通過して地表に放出される



桜島 防災上の警戒事項等

噴火警戒レベル3（入山規制）

警戒事項

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する**大きな噴石**及び**火砕流**に警戒してください。

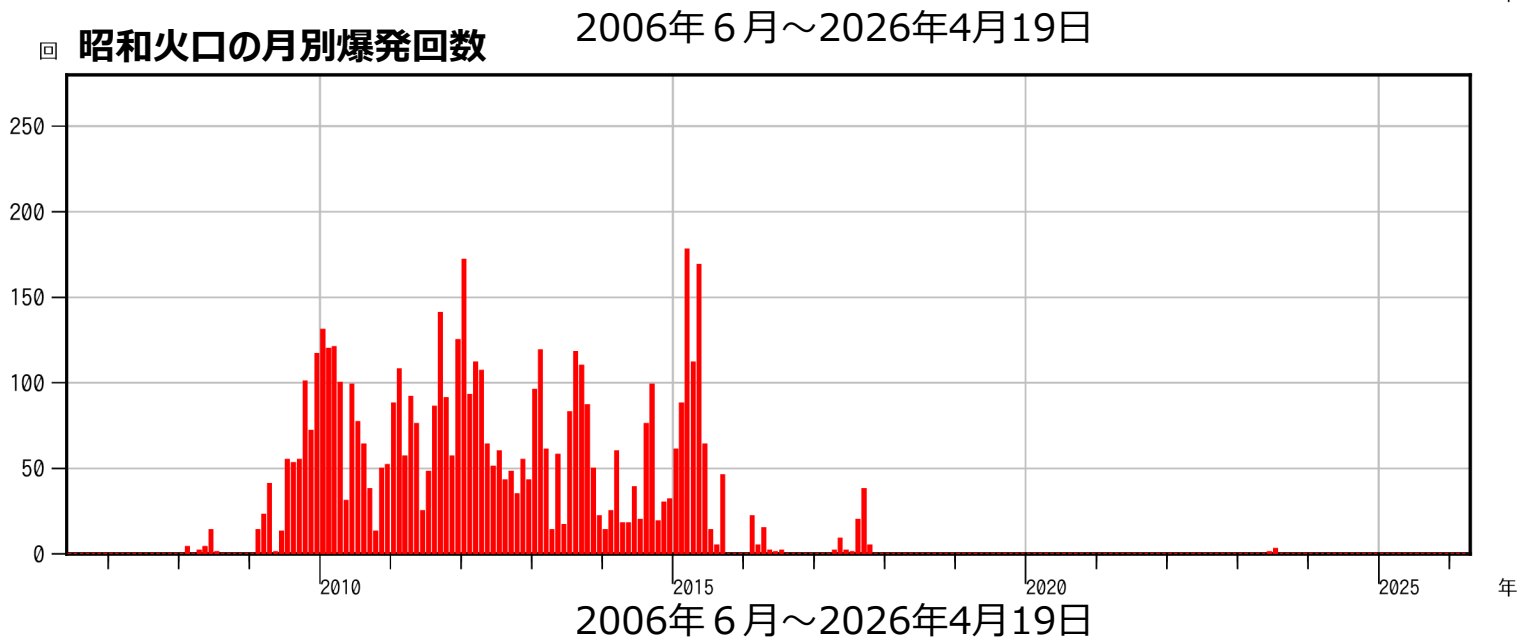
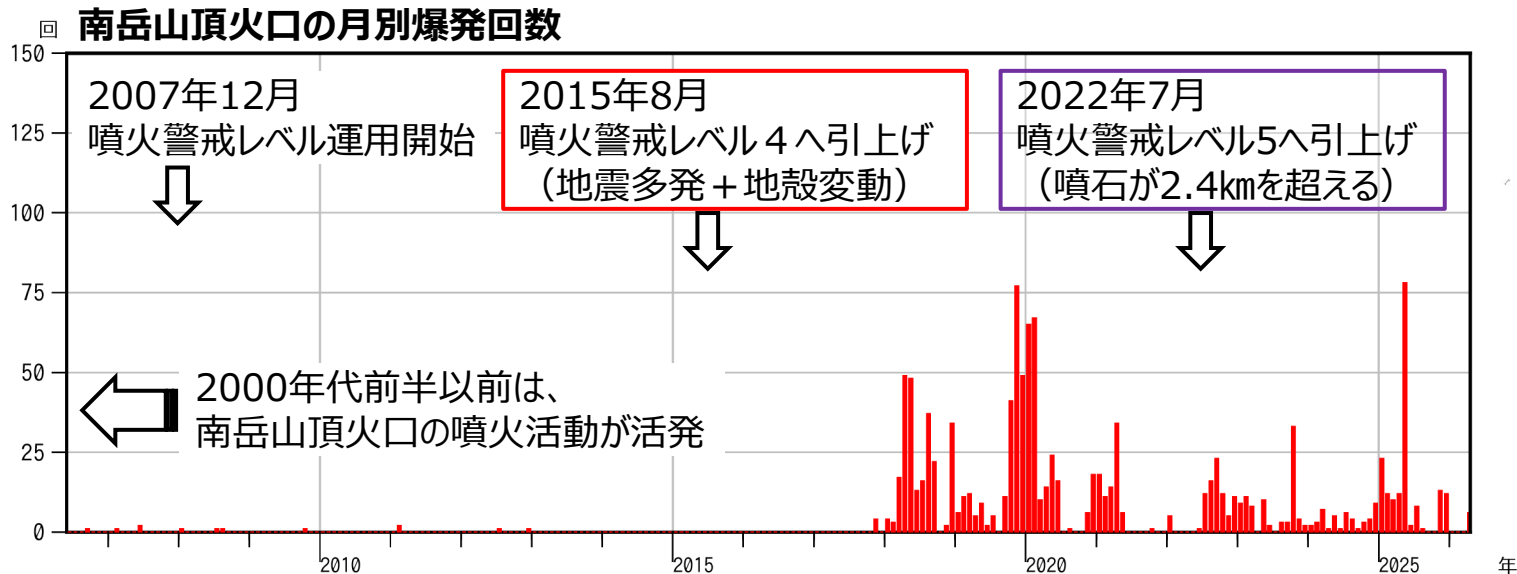


南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 km

- ・風下側では**火山灰**だけでなく**小さな噴石**が遠方まで風に流されて降るため注意してください。
- ・爆発に伴う大きな**空振**によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。
- ・降灰状況により、降雨時に**土石流**が発生する可能性があるので留意してください。

桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）



eラーニング教材「火山災害から命を守る」

eラーニング教材

火山災害から命を守る

eラーニング教材は
こちらから

火山災害から命を守るための基本的な知識と取るべき行動を学びます。

難しく考えず、気楽に始めましょう。人数や実施形式に決まりはありません。

好きな時間
ペースで学べる

教材は、すべて気象庁
ホームページで公開しています

一人でも
複数人でも

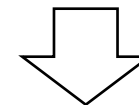
身近な人と一緒に取り組んだり、
授業や研修での利用もできます

専門家や経験者が
いなくても大丈夫

学習の進め方を解説する資料に
沿って進められます

主な噴火による人的被害

- ・1958年6月24日 阿蘇山
死者12名、負傷者28名
- ・1979年9月6日 阿蘇山
死者3名、重傷者2名、軽傷者9名
- ・1991年6月3日 雲仙岳
死者不明43名
- ・2014年9月27日 御嶽山
死者不明63名



被害の多くは登山者など地元以外の方
火山の無い地域にお住まいの方にも
知っていただくことが重要

3月1日以降の火山関連事項

- ・3月9日 火山情報アドバイザー会議（定例会）を開催
- ・3月19日 霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベル判定基準を改定
- ・3月26日 常時観測火山に中之島を追加
- ・3月26日 eラーニング教材「火山災害から命を守る」・
「地震・津波から命を守る」の提供開始
- ・3月31日 薩摩硫黄島の噴火警戒レベル及び判定基準を改定

以下、参考資料

(用語集、噴火警戒レベルの判定基準リンク集)

桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）

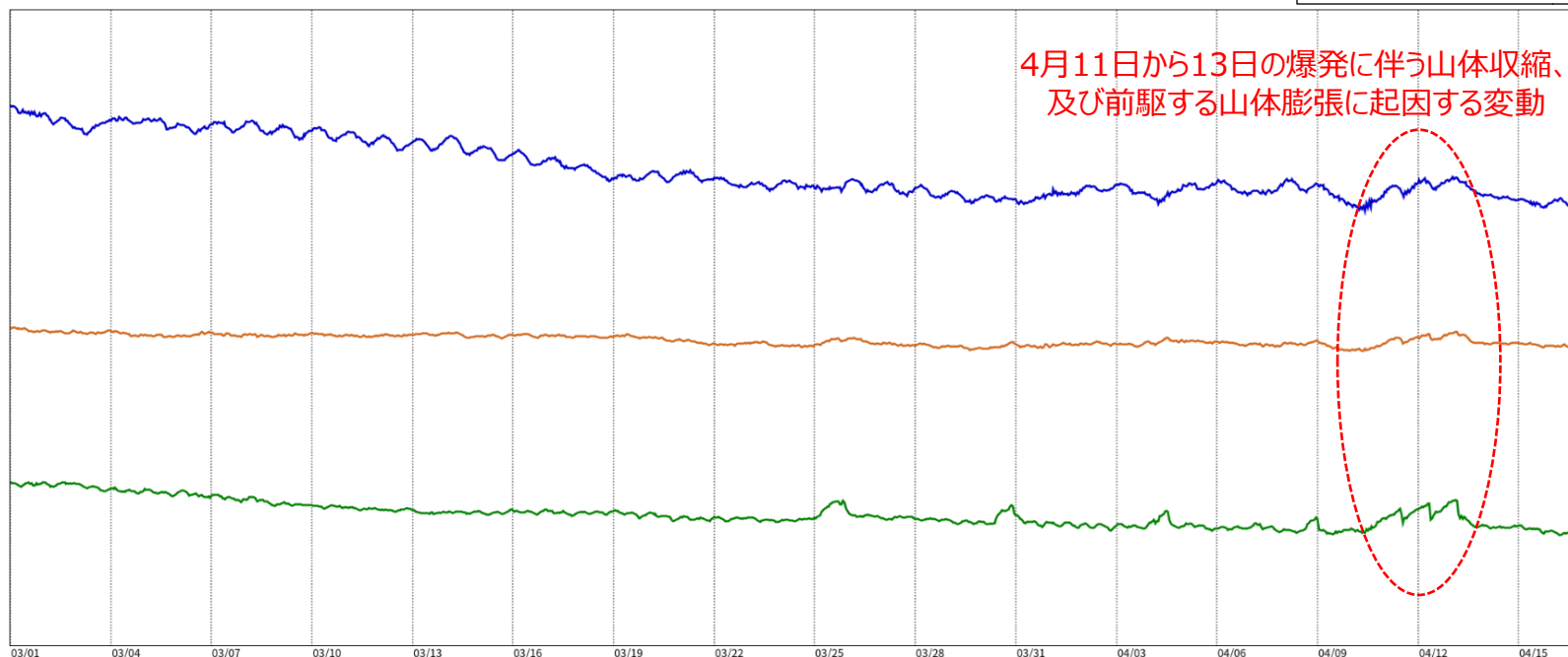
3月以降の主な状況

傾斜・伸縮

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、山体膨張及び噴火活動に伴う収縮と考えられる地殻変動が繰り返し観測された。



↑ 200nstrain
火口直交方向伸張
200nradian
火口方向UP



あみだ川
傾斜計
南北成分

ハルタ山
伸縮計
火口直交

有村
伸縮計
火口直交

桜島 傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況（2026年3月1日～4月16日）

※各観測点のデータは潮汐補正を行っている。

※図の作成には、大隅河川国道事務所の有村坑道、京都大学のハルタ山坑道の観測データを使用している。

用語集

- **噴石**：気象庁では、噴火によって火口から吹き飛ばされる防災上警戒・注意すべき大きさの岩石を噴石と呼んでいる。火山に関する情報では、防災上の観点から、「大きな噴石」および「小さな噴石」に区分して使用する。
 - ・**大きな噴石**：概ね20～30cm以上の、風の影響をほとんど受けずに弾道を描いて飛散する噴石のこと。
 - ・**小さな噴石**：直径数cm程度の、風の影響を受けて遠方まで流されて降る噴石のこと。
- **火砕流**：噴火により放出された破片状の固体物質と火山ガス等が混合状態で、地表に沿って流れる現象のこと。火砕流の速度は時速百km以上、温度は数百℃に達することもあり、破壊力が大きく、重要な災害要因となりえる。
- **空振**：噴火などによって周囲の空気が振動して衝撃波となって大気中に伝播する現象のこと。空振が通過する際に建物の窓や壁を揺らし、時には窓ガラスが破損することもある。火口から離れるに従って減速し音波となるが、瞬間的な低周波音であるため人間の耳で直接聞くことは難しい。
- **火山性地震**：火山体またはその周辺で発生する地震のこと。マグマの動きや熱水の活動等に関連して発生するものや、噴火に伴うものもある。火山によっては火山活動が活発化すると多く発生する傾向がある。
- **火山性微動**：火山体またはその周辺で発生する火山性地震よりも継続時間の長いもの。地下のマグマや火山ガス、熱水などの流体の移動や振動が原因と考えられるものや、微小な地震が続けて発生したことによると考えられるものがある。火山活動が活発化した時や火山が噴火した際に多く観測される。
- **火映**：高温の溶岩や火山ガス等が火口内や火道上部にある場合に、火口上の雲や噴煙が明るく照らされる現象のこと。一般には夜間に観察される。
- **赤熱**：高温の溶岩や噴気孔が赤く見える状態、あるいは現象のこと。
- **GNSS連続観測**：GNSS（全球測位衛星システム：Global Navigation Satellite Systems）の受信機を用いて連続的に地表の動き（地殻変動）を測定する観測。火山内部のマグマの動きを推定するために利用される。
- **爆発**：噴火の一形式。桜島や霧島山など、「爆発」の用語が地元で定着している場合には、爆発地震の有無、空振の大きさ、大きな噴石の飛散距離などの条件を満たす噴火について、「爆発」を使用することがある。

✓ 気象庁が噴火警報等で用いる用語集はこちらからでも確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

噴火警戒レベルの判定基準リンク集

(主に警報発表火山のみ)

■ 霧島山（新燃岳）

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/551_level_kijunn.pdf

■ 桜島

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/506_level_kijunn.pdf

■ 薩摩硫黄島

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/508_level_kijunn.pdf

■ 諏訪之瀬島

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/511_level_kijunn.pdf

✓ こちらで全国の噴火警戒レベルの判定基準とその解説が確認できます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/keikailevelkijunn.html